

学校評価報告書

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 松伏町立松伏中学校 |
| 実施日 | 12月22日(水) |

・「学校自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、4～1(平均点)を記入してください。
 ・「学校自己評価についての評価の説明及び改善策等」の欄には、その評価に至った理由及び学校自己評価の結果を学校がどのように受け止めているか等を記入してください。

| NO | 評価項目 | 学校自己評価 | 学校自己評価についての評価の説明及び改善策等 | 学校関係者評価委員評価 | 学校関係者評価委員会の意見等 |
|----|--|--------|--|-------------|--|
| 1 | 学校は、特色ある学校づくりに取り組んでいる。 | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師、保護者との連携が深まっている。 ・南会津との取組は、学校外へのPRを積極的に松伏中の取組を多くの人に知ってもらっている。 ・教育活動、日課、ルールなど最終判断は管理職だが、あいまいな部分が見られる。 ・学校だより等で周知している。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・校長は、学校評議員等の外部の意見を積極的に聞き対応をしている。 ・校長は、職員、地域の方々、学校評議員、保護者等の意見を広く聞いている。 |
| 2 | 学校は、積極的に生徒指導に取り組んでいる。 | 3.5 | <ul style="list-style-type: none"> ・休みがちな生徒、心に傷をおっている生徒など、担任を中心に生徒の心に寄り添いながら、家庭と積極的に話し合いを重ね、連絡しながら連携をとっている。 ・教員同士の情報交換、家庭への連絡や訪問をよく行っているため。 ・今年度は校内の破損物もなく、落ち着いた生活ができています。 ・生徒指導主任を中心に学年職員が共通理解を持って、生徒指導にあたっている。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域との連携をよく図っていると思う。 |
| 3 | 学校は学校教育目標の実現に取り組んでいる。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・時数の確認や学校だより等、定期的実践している。 ・授業時数の均等化を図る。 ・見直しを持った授業計画の実施を目指す。 ・常に現状の授業時数を確認をしていくことが重要である。 ・最終の授業時数管理は1人でないと現実的な時数はでないため、各行事担当が行った後、主幹が確認する。 ・授業研究会など授業の検討の機会がある。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等により、生徒、保護者に対し積極的に情報提供をしている。 ・学校だよりは、とても分かりやすく、学校の様子がよく分かる。 |
| 4 | 学校は、学力向上に取り組んでいる。 | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導、補習について、学校全体で取り組んでいく。 ・タブレットを活用し、個人差に応じた授業を行っていく。 ・タブレットをもっと身近で活用できることに気づかせる。 ・生徒が思った以上に活用できる。 ・授業時間外の漢字・単語・計算コンテストなど、全職員で取り組んでいる。 ・松伏授業プランに沿った授業を全教科で行っている。 ・タブレットにWord、Excelの正規版を入れて欲しい。 ・新学習指導がスタートした今年だからこそ指導の振り返り、教科内の情報交換等を行いたかったが、時間の余裕がなかった。 | 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・上位層の取組をお願いしたい。 ・授業を拝見した際、内容(指導方法)がおもしろかった。 ・タブレットが授業に取り入れられるようになってきた。 |
| 5 | 学校は豊かな心を育む授業に取り組んでいる。 | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を担当だけでなく、学年職員全員が担当し積極的に指導計画に基づき、取り組んでいる。 ・1年間の全体を見通した、計画を立てることが重要である。 ・授業時数が少なかった。 ・道徳が楽しいと言っている生徒の話をよく聞く。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に道徳で身に付けさせたい価値のアンケートを取り、取り組んでいる。 |
| 6 | 学校は、「規律ある態度」の育成に取り組んでいる。 | 3.5 | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、元気なあいさつができていく学校であると感じる。相手に伝わるあいさつを！ ・職員に対する生徒の言葉遣いも適切である。 ・来校される方からもあいさつがよいとほめられた。 ・的確な返事ができるようにする。 ・敬語表現、話し言葉、書き言葉の区別を教えられていない場がある。 ・タブレットの使い方について明確な規律がないので、ICT担当を中心に決定の場を作っていたきたい。 ・生徒に言っていることを自分(教員)違ができていない。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・来校者にあいさつが、学校で指導されているとは思いますが、できていません。教師の言葉遣いも気を付けてもらいたいです。 |
| 7 | 学校は、児童生徒一人一人を大切にしている。 | 3.7 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のほんの少しの心の変化にも気づいてあげられる、あたたかい学校であると感じる。 ・様々な場で生徒に寄り添う姿勢がみられている。 ・相談室、SCを有効に活用して生徒の心のケアに努めている。 ・教師が生徒に対する言葉遣いをもう少し注意しなければいけないと思うことが数回あった。 ・行事等の各実行委員などを中心に活躍の場を多く設定している。 ・縦割りの学年交流ができていなかったのが先輩・後輩(異学年)のよさを見つけることが十分にできなかった。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナに対する問題がこれからも増えると思われず、対応をお願いします。 |
| 8 | 学校は、「健康・体力」の目標達成に取り組んでいる。 | 3.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限もある中で、様々な課題を提案し、実行の機会を設けていると感じる。 ・学校保健委員会や学校便りを通して、健康課題を発信し改善に努めている。 ・屋休みに外で運動している生徒が多くて良い。 ・文化部の生徒の運動不足感がある。 ・新体力テストによる一人一人の体力分析や5分間持久走などの校内順位を明らかにし努力している。 ・全体に課題の把握、体力目標値など周知し活用したい。 | 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業時数、生徒の労働時間減少にも関わらず、部活動において良い成績が見られる。 ・コロナ禍で部活動が少ない中、体力づくりに工夫している。 ・運動部の指導にとても力を入れている。 |
| 9 | 学校は、学ぶ環境づくりに取り組んでいる。 | 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年が季節感や学習の取組が見える掲示物を作成している。 ・各クラス黙々とできている。 ・自分の担当外でも進んでできるようにしていく。 ・安全点検を確実に実施しているが、管理職に言われてからなので、自主的に行えるともっとよい。 ・雨漏りがひどいが、気づいた生徒や先生方が的確に対応している。 ・窓のゴムパッキンなどの修繕をお願いしたい。 ・廊下や教室の掲示物が数ヶ月同じなのは気になる。 ・不要なものが校内に多いので、計画的に片付けていく。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後、保護者や地域の方に学校開放日の参観を呼びかけ、外から見の気づきを教えて頂くとうい。 |
| 10 | 学校は安心・安全な教育環境づくりに努めている。 | 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の報告を怠らない関係や連携がとれている。 ・先生方の善意による修繕や清掃によって安全な学校の環境が保たれている。 ・危険な箇所がでると、素早く修繕されている。 ・定期的に安全点検を実施しているが、担当の点検結果の提出が不十分である。 ・修繕が行われていない箇所がある。 ・紙面での確認だけでなく意識付けの活動は必要である。 ・修繕がなかなか進んでいない。 ・不審者対応や緊急時対応について実施が必要。 | 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、災害時の安全確保については、小学校との連携を図る訓練を行ってもよいのではないかと。 |
| 11 | 学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 | 3.5 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の行事計画や様子が分かりやすく更新されている。 ・学校の生活の様子や宿泊行事で、現地の情報をタイムリーに生徒・保護者に公開し好評である。 ・よく更新されている。 ・HPを各分担の教師でできるとよい。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・HPが充実してきており、保護者にとっては様子が分かってありがたい。今後も学校関係者への発信の充実に向け、取り組んでほしい。併せて情報管理を保護者にも発信する。 |
| 12 | 学校は、家庭・地域社会と連携協力し、問題解決に取り組んでいる。 | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> ・担任や管理職、スクールカウンセラー、相談員と連携し、一人一人の生徒に寄り添い、何か問題が起きた際は、適切に解決に努めている。 ・生活アンケート(いじめアンケート)を定期的に行い、実態把握に努めている。 ・様々な人に関わり、学校運営や行事が進められている。 ・通学路の確認や登校指導等未然防止に努めているため、大きな事故、事件が発生していない。 ・1日も登校できない生徒がいらないのは、取組の成果である。 ・情報を共有し、数人での対応ができていく。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から「地域との連携を考えてみると良い」との意見がある(保護者アンケート結果から)ので検討を進める。 |